

A decorative border with floral motifs in the corners and a thin line connecting them.

令和2年第4回富谷市議会定例会

市長挨拶

令和2年12月1日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～

1. はじめに

はじめに、今回、私が新型コロナウイルス感染症に感染したことについてお詫び申し上げます。

市民の皆様、事業者の皆様、そして最前線で業務に当たっている保健医療関係機関の皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止にご理解とご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

そのような中、私は先月陽性が判明した伊藤康志大崎市長との接触がありましたことから、23日にPCR検査を受け、翌24日に陽性であることが判明いたしました。

現在、私は医療機関に入院しておりますが、幸い症状はなく、常に電話やメール等により職員と連絡が取れ、必要な指示を出せる状況にありますことから、当面、職務代理は置かず、業務に支障が無いよう対応してまいります。

議会を控えたこの時期に陽性という結果になり、私自ら直接公務に当たることができず、また、本日開会した議会を欠席することとなり、議長はじめ議員の皆様、そして市民はじめ関係者の皆様にご迷惑をお掛けいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

復帰後は全身全霊で市長の職務に当たってまいりますとともに、職員一丸となって新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めてまいりますので、市民はじめ事業者の皆様、そして最前線で業務に当たっている保健医療関係機関の皆様には、引き続きご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

それでは、本日ここに、令和2年第4回富谷市議会定例会が開会されるにあたり、開会の挨拶に併せ、富谷市総合計画に掲げた、まちづくりの将来像「住みたくなるまち日本一」の実現に向けた現在の取組概要について、ご説明申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症への市の取組について申し上げます。

11月29日現在、県内の新型コロナウイルス感染症の感染者数は、累計1,202人となり、うち本市での累計感染者数は13名となっております。県内の感染者

数は、クラスターの発生が相次いだこともあり、10月中旬からの1か月余りで倍増しております。

本市では、昨日11月30日に新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催し、本日12月1日以降の市が実施するイベントや会議等についての実施方針を、国や県の方針等に基づき見直し、現在実施しているイベント開催時の人数制限を来年2月末まで延長することといたしました。

さらに、冬季においては、例年、季節性インフルエンザの発熱患者が発生しており、新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されることから、宮城県では11月5日から医療提供体制整備を行ったところです。

本市においては、現在、インフルエンザ予防接種費用の助成を行っておりますので、接種を希望される方は早めの接種をお願いしますとともに、発熱等の症状がある場合には、まずは、かかりつけ医に、かかりつけ医がいない方は受診・相談センターに電話相談をお願いいたします。

また、寒冷的な場面における新型コロナ感染防止等のポイントとして、マスクの着用、人と人の距離の確保、感染リスクが高まる「5つの場面」に気を付けるなど、基本的な感染防止対策の実施のほか、寒い環境でも換気の実施と適度な保湿をお願いいたします。

今後とも各関係機関と密に連携しながら、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めてまいります。

次に新型コロナウイルス感染症関係の主な経済対策の状況について申し上げます。なお、実績については、11月末日現在となります。

本市独自の経済対策第3弾として実施している、国の特別定額給付金の基準日となる4月27日の翌日から来年3月31日までに出生した新生児1人に対し、10万円を支給する「新生児特別定額給付金事業」は、118名に対して振込を完了したところです。

75歳以上の高齢者に対する長寿のお祝いと、市内経済の活性化を図るために実施いたしました「とみや敬老祝応援商品券事業」については、65%の利用率となり、多くの方にご利用いただいております。

大学・専門学校生等を対象に、上限30万円の無利子貸付けを行う「緊急学業支援貸付事業」は、6件の申請を受付したところです。

次に、第4弾として取り組んできた、オンライン会議に対応するため、本庁舎

に必要な機器等を整備する「市役所庁舎におけるオンライン会議システム構築事業」、避難所における感染症拡大を予防するため、ダンボールベット、仕切り板等、必要な物品を整備する「防災用備蓄物品等整備事業」及び市民バス車内の衛生環境確保のため、除菌イオン発生装置を整備する「市民バス運営事業」並びに本庁舎、各公民館、総合運動公園に体温測定カメラ等を整備し、入館時の来場者への体温測定の実施については、運用を開始しているところです。

次に、第5弾として実施している「事業継続支援事業」の助成件数は、135件となっています。

町内会館感染防止対策事業については、非接触型体温計等を各町内会館に配備したほか、空気清浄機については、2月下旬までに、順次、各町内会館へ配備する予定としております。

市内認可保育所や私立幼稚園、児童クラブ等に従事する職員に対して、1人当たり5万円の慰労金を支給する「児童福祉施設職員及び幼稚園職員慰労金支給事業」は、児童福祉施設職員441名、幼稚園職員117名、合計558名の対象者に対して支給が完了しています。

ふるさと便事業第2弾として、実施している「とみや牛タンカレーふるさと便」は、第1弾の「ブルーベリーふるさと便」の申込者148名に加え、新たに申込のありました80名の合計228名に対して送付が完了しています。

次に第6弾として実施している「市民活動応援セット配布事業」につきましては、57団体から申請をいただき、順次、配布しているところです。

以上、新型コロナウイルス感染症関連について、ご報告申し上げます。

2. 「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」について

それでは、富谷市総合計画の4つの基本方針と前期基本計画の体系に基づき、各種施策の実施状況について申し上げます。

まず、「基本方針－1 暮らしを自慢できるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 商工業・雇用関連施策について

はじめに、商工業・雇用関連施策について申し上げます。

高屋敷工業団地内に立地する日本ファインセラミックス株式会社富谷事業所の第2、第3工場が完成し、10月2日に竣工式が執り行われました。

新工場では、ハイブリッド自動車や電気自動車向けのパワー半導体や電子デバイスに欠かせない絶縁放熱基盤の量産を行うこととされ、ファインセラミックス製品の開発・生産を通じて低炭素社会、脱炭素社会の実現に繋がればと期待しているところであります。

(2) 起業支援関連施策について

次に、起業支援関連施策について申し上げます。

富谷塾については、11月26日現在、229名に入塾いただいております。今年度の富谷塾は、3密を防ぐため、会場を市民交流ホールに変更し、企業のトップや責任者を講師にお招きして、8月から4回開催しております。起業・創業やビジネスを展開する上で大いに参考となる内容であり、ご講演をいただきました皆様に改めて感謝を申し上げます。

(3) 農業関連施策について

次に農業関連施策について申し上げます。

新みやぎ農協あさひな地区本部内での本市のうるち米の11月2日現在の買入状況は、約3千5百トンとなり、昨年より100トン減少したものの、本年産の1等米比率は96%と、昨年と比較して、大幅に向上しました。

引き続き、新みやぎ農協あさひな地区本部と連携を図り、農協推奨ブランド米である「特別栽培米」の安全安心で売れる米づくりの推進及び消費拡大に向けて取り組んでまいります。

農作物有害鳥獣対策については、イノシシ対策として設置している物理柵を、明石地区に4.3キロメートル追加支給する予定であり、3月中に完成予定となっております。

また、現在設置している物理柵の維持管理に要する費用等についての支援策として、新たな補助制度を設け、イノシシの侵入防止及び農作物の被害拡大防止に取り組んでまいります。

つきましては、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程、よろしく申し上げます。

昨年の「令和元年東日本台風」による災害復旧事業については、甚大な被害を受けた農地や農業用施設の復旧に努め、大規模な被害を受けた「ため池」等、15か所の国庫補助事業については、9月に契約を締結し、年度内の完了に向け進め

ているところであります。

小規模な被災箇所については、商工会との災害時協力協定に準じ、市内の協力業者に復旧工事を依頼し、本年の田植までに復旧を完了いたしました。

本災害は、過去に例を見ない甚大な被害の中で早急な復旧が求められたことから、工事費については出来高精算としたところでありましたが、精算にあたっては、予定していた工事概算額を大きく上回る結果となりました。

つきましては、過年災の「令和元年東日本台風農業用施設災害復旧費」として、本定例会の補正予算に関連経費を計上しておりますので、ご審議の程よろしくお願いいたします。

(4) 観光・地域振興施策について

次に、観光・地域振興関連施策について申し上げます。

10月10日から25日までの期間で初めて開催しました「秋のスイーツフェア」は、市内10店舗参加のもと、特産物でありますシャインマスカット、イチジク、ハチミツやブルーベリー等を使用したとみやスイーツが販売され、好評のうちに終了いたしました。今後とも交流人口拡大や特産物の販路拡大、そして「とみやスイーツ」のブランディングに努めてまいります。

また、毎年1月5日の年頭行事として開催しておりました「新年祝賀会」については、新型コロナウイルス感染症拡大のおそれがあるため、やむなく今年度の開催を取りやめることといたしますので、ご理解をお願いいたします。

(5) 公共交通関連施策について

次に、公共交通関連施策について申し上げます。

「都市・地域総合交通戦略（基本計画）」に基づき、市民バスの再編による運行及びデマンド型交通の実証運行を10月1日から開始いたしました。さっそく、先日開催された「とみや市政懇談会」において、さらに使いやすく、便利になったとのお声をいただきました。今後も利用者の皆様の声を大切にしながら、市民の皆様が利用しやすい交通体系となるよう、市内交通網の充実に努めてまいります。

3. 「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」について

続きまして、「基本方針－2 教育と子育て環境を誇るまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 教育・青少年健全育成関連施策について

はじめに、教育・青少年健全育成関連施策について申し上げます。

市内小中学校では、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、各学校において内容を工夫し授業等を実施してまいりました。修学旅行については、教育委員会と各学校が連携し、児童・生徒の安全を第一に考え、期日や研修場所の変更、予定をしていた宿泊から日帰りに切り替えるなど工夫しながら実施したところですが、やむを得ず実施できなかった学校が2校ありました。

(2) 教育・国際交流関連施策について

次に、教育・国際交流関連施策について申し上げます。

政府の「GIGA スクール構想の実現」に向けて、児童生徒1人1台のタブレット端末環境整備を進めてまいりましたが、10月末をもって整備が完了し、11月2日に、成田東小学校において「GIGA スクール構想」に伴う富谷市教育 ICT 機器運用開始式を、渡邊議長はじめ、関係者の皆様にご臨席を賜り、執り行ったところであります。

今後は、学習指導要領が目指す持続可能な社会の創り手としての必要な資質、能力、とりわけ、情報活用能力の育成に向けて、全ての学習活動において、今回整備を行った機器を活用し、主体的・対話的で深い学びの実現を図ってまいります。

(3) 生涯学習関連施策について

次に、生涯学習及び図書館整備関連について申し上げます。

図書館整備関係については、図書館、スイーツステーション、児童屋内遊戯施設を複合施設として整備を進めていくため、新たな基本方針の策定に着手したところです。

現在、基本方針の全体像を精査する前段で、児童屋内遊戯施設に関する整備方針について、住民アンケートの分析を中心に策定を進めております。

今後、3施設個別の基本計画の整理、機能配置案の検討、需要予測等段階的に

検討を進めてまいります。

次に、「富谷市成人式」については、夢と希望に満ちた成人となられた方々を祝福するため、来年1月10日に富谷市スポーツセンターを会場として、執り行います。

今回は、コロナ禍の中、感染防止対策を十分に講じながら開催することを念頭に検討を行った結果、午前・午後の2回に分け、式典内容も簡素化して開催することといたしました。

式典会場については3密を避けるため、例年と異なる座席配置となりますが、議会の皆様、関係機関代表の皆様にはご案内を申し上げますので、新成人の門出を祝していただきますようよろしくお願いいたします。

次に、芸術・文化関連施策について申し上げます。

マーチングバンド・バトントワーリング東北大会については、新型コロナウイルス感染対策のため映像審査となり、市内小学校5校と、とみやマーチングエコーズが参加しました。審査の結果、とみやマーチングエコーズ、成田東小学校、富ヶ丘小学校が全国大会への出場が決まりました。しかしながら、全国大会も同様に映像審査となっており、来年1月23日・24日に開催されます。

エコーズは23年連続24回目の出場、成田東小学校は2年連続8回目、富ヶ丘小学校は5年連続5回目の出場となります。映像審査となりますが、全国での活躍を期待すると同時に、芸術文化の薫るまちづくりを目指し、今後も支援してまいります。

(4) 子育て関連施策について

次に、子育て関連施策について申し上げます。

富谷市子ども医療費の助成については、10月1日から小学4年生以上の通院分の所得制限を撤廃し、対象児童10,937人全員に新たな受給者証を交付したところです。引き続き、子どもの適正な医療機会の確保及び子育て家庭の経済的負担の軽減を図ってまいります。

母子保健事業につきましては、10月から産後うつの予防として、出産間もない時期の母子をサポートする「富谷市産後ケア事業」を新たに開始いたしました。育児の不安を少しでも軽くし、安心して子育てができるように支援してまいります。

3. 「基本方針－3 元氣と温かい心で支えるまち」について

続きまして、「基本方針－3 元氣と温かい心で支えるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 健康・保健関連施策について

はじめに、健康・保健関連施策について申し上げます。

5月から延期をしておりました特定健診及び結核・肺がん検診等各種住民健診は、11月13日から市内公民館を会場に開始し、入場前の体温測定や体調確認、会場内の換気など、感染予防対策の徹底に努めて実施しているところです。

また、10月28日には公衆衛生・感染症疫学がご専門の医師をお迎えし、「とみや市民公開講座」を開催いたしました。市民のみならず、商工会や連携協定先の企業の皆様にもご出席いただき、新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症予防について、改めて学びを深めていただきました。講座の内容は、市のホームページでも動画配信を行っており、引き続き、この冬に備えた感染症対策を推進してまいります。

(2) 医療関連施策について

次に、医療関連施策について申し上げます。

県立がんセンター・東北労災病院・仙台赤十字病院の連携・統合の協議開始の報道を受け、本市では誘致を表明いたしました。また、先の9月定例会におきまして、議会の皆様からも「総合病院の誘致に関する決議」を全会一致で可決いただき、改めて感謝を申し上げます。富谷・黒川地域共通の願いとして、大和町長・大郷町長・大衡村副村長と共に知事に直接要望し、用地確保、運営、泉中央駅からのアクセス等について、最大限支援することをお話ししてまいりました。3病院の統合・移転が前提となりますが、引き続き、議会の皆様のご理解を賜りながら、誘致実現に向けてしっかりと取り組んでまいります。

(3) 障がい者支援関連施策について

次に、障がい者関連施策について申し上げます。

聴覚障がい者との交流促進を図るため、手話奉仕員養成研修を11月5日から開始し、現在19名の方が日常会話程度の手話の習得に向けて、取り組んでおられます。今後は、地域の手話ボランティアとして社会活動に参加していただき、

地域福祉を支える人材となるよう支援してまいります。

また、聴覚障がい者が安心して相談等ができる体制を構築するため、宮城県内で初めて、リアルタイムでの手話通訳が可能となる専用のアプリケーションをインストールした端末を整備し、本日から地域福祉課窓口で運用を始めております。なお、手話通訳だけではなく、音声を変換できるアプリケーションも併せて導入することで、マスク等で職員の声が聞き取りにくいという来庁者の相談にも活用してまいります。

4. 「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」について

続きまして、「基本方針－4 市民の思いを協働でつくるまち」に関する主な施策について申し上げます。

(1) 防犯・交通安全・消費者保護関連施策について

防犯・交通安全・消費者保護関連施策について申し上げます。

交通安全関連につきましましては、10月22日に、本市の交通死亡事故ゼロ500日が達成され、宮城県知事並びに宮城県警察本部長より褒状の伝達を受けました。

これからは、路面凍結や積雪が多くなる時期となってまいります。今後も交通死亡事故ゼロを継続すべく、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

交通安全施設については、今年度から国の「交通安全対策補助制度」を活用して進める「あけの平地区生活道路安全対策工事」の、あけの平地区と大清水地区を結ぶルート上で「道路の一部を狭めて車の速度を抑える工事」に着手しましたので、沿道にお住いの皆様のご了解をいただきながら作業を進めてまいります。

また、来年度に設置を予定している「ハンプ」の効果等を検証するため、12月25日までの予定で「仮設ハンプ」の試験設置を行っておりますので、今回の結果を来年度の工事に反映させてまいります。

(2) 環境衛生関連施策について

廃棄物処理関連については、清掃センター旧焼却棟の解体に係る施工管理業者が決定したことから、令和3年7月末完了に向けた解体工事を進めております。

また、「令和元年東日本台風」に伴う災害廃棄物である稲わらの処分については、仮置きしている大和町鶴巢のクリーンプラザみやぎから仙台市松森工場への搬入を開始しており、来年1月末には完了する予定であります。

(3) 住民参加・協働関連施策について

次に、住民参加・協働関連施策について申し上げます。

本年度第4回となる「とみやわくわくミーティング」については、「とみやわくわく子どもミーティング」として、「子どもにやさしいまちづくりについて～わたしたちが描く とみやの未来～」をテーマに、「世界子どもの日」の11月20日、市民交流ホールで実施いたしました。市内全ての小学校から、6年生16名の皆さんにご参加いただき、小学生ならではの新鮮な視点でたくさんのアイデアや意見をいただきました。引き続き、将来を担う子どもたちの声を積極的にまちづくりに生かしてまいります。

「まちづくりの基本となるルールの策定」については、先の議員全員協議会でご説明申し上げましたとおり、富谷市協働のまちづくり推進審議会において、中間案が取りまとめられました。今後の策定スケジュールとして、現在実施しているパブリックコメントや、12月22日に開催を予定している「市民協働セミナー」での市民皆さんのご意見等を十分に反映し、最終答申をいただくこととしており、本年度内の策定に向け着実に取り組んでまいります。

町内会館の整備については、西成田会館新築工事が11月末に完了いたしました。また、(仮称)明石会館の設計及び地質調査業務も順調に進んでおり、令和3年中の工事完成を目指し、取り組んでまいります。

(4) 行財政経営関連施策について

次に、市税について申し上げます。

改めまして市民の皆様への納税へのご理解とご協力を賜っておりますことに、深く感謝申し上げます。

現在、来年2月10日から行う予定の令和2年分の市・県民税等申告相談の実施に向け準備を進めておりますが、今般のコロナ禍の状況も踏まえ、所得税等の確定申告については、電子申告、いわゆる e-Tax を利用していただくよう広報などを通じて啓発してまいります。

e-Tax や、各種証明書のコンビニ交付にはマイナンバーカードが必要であり、

来年 3 月からは、健康保険証としての利用が開始されることから、申告会場にて、マイナンバーカード交付申請の受付を実施し、普及促進に努めてまいります。

最後に、しんまち活性化及び富谷宿開宿 400 年記念事業について、ご報告いたします。

元和 6 年、1620 年の 9 月 13 日、今年の暦では 10 月 29 日に、この地に「富谷宿」が開かれ、400 年の時を迎えました。改めて、先人の皆様のご労苦に感謝を申し上げるとともに、この富谷の歴史を後世に語り繋いでいく使命を強く感じているところであります。

宿場町の歴史とともに、本市の偉人である内ヶ崎作三郎先生の功績を知っていただく記念館を中心とした、富谷宿観光交流ステーション、愛称「とみやど」は、施設のグランドオープンを来年 4 月 17 日の土曜日と決定し、現在は、テナント独自の工事も最終段階に入っており、施設の周知を図るための方策の検討や次年度以降の運用シミュレーションを行っているところです。

また、10 月 11 日には、市制施行 4 周年と併せた花火プロジェクトを実施し、10 月 24 日、25 日には、しんまち活性化協議会が中心となった「祝場町プロジェクト 富谷茶と宿場を楽しむ会」を「とみやど」と「脇本陣 氣仙屋」を会場に開催しました。2 日間で約 700 人の方にお越しいただきました。両日も「とみやど」に入居予定の各テナントがマーケティングを行い、手ごたえをつかんだイベントとなりました。

11 月 6 日、7 日には、富谷中央公民館を会場に「とうほく街道会議 第 16 回交流会 奥州街道・富谷宿大会」が開催されました。初日のフォーラムでは、仙台伊達家 18 代当主の伊達泰宗（だて やすむね）様、東北大学名誉教授の平川新（ひらかわ あらた）様のご講演ののち、福島県桑折（こおり）宿、山形県六田（ろくた）宿からパネリストをお迎えし、富谷宿の未来についてパネルディスカッションを行いました。2 日目には、富谷宿を巡る探訪会を開催し、秋晴れの中、まち歩きを楽しんでいただきました。

11 月 28 日には、「出張なんでも鑑定団 in 富谷」の収録が行われました。当日は、テレビ東京との協議を踏まえ、コロナ禍における感染対策を徹底するとともに、観覧者数の制限をさせて頂いての開催となりましたが、6 名のお宝の鑑定が行われ、和やかなひと時となりました。

現時点で、放送の日程は決定しておりませんが、来年 2 月頃となる見込みで

ありますので、放送の際には、是非ご覧いただければと思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、さまざまなイベントが中止・延期を余儀なくされている中、人数を制限し、感染対策を行ったうえで、各イベントを実施しましたが、特に、しんまち地区を巡るまち歩きの人気は常に高いものがありましたので、今後は、「とみやど」のオープンに併せて、しんまち地区を中心とした、まち巡りなど、工夫を凝らした様々な取組を進め、市民の皆様をはじめ、多くの皆様に富谷を知っていただく機会を創出してまいります。

以上、令和2年第4回富谷市議会定例会が開会されるにあたっての挨拶とさせていただきます。